



市川市立 南新浜小学校 学校だより「ひかり」

平成30年10月3日 No.6



9月も終わり、ようやく秋を感じる事ができるようになってきました。10月5日(金)には前期が終了し、子供たちには通知表「あゆみ」が渡されます。すでにご存じと思いますが、今年度より外国語活動・外国語と道徳が加わりました。内容と評価についてお伝えします。

外国語活動&外国語

	平成29年度まで	平成30年度から	ねらい	授業
3年生 4年生		外国語活動 ・聞くこと ・話すこと 週1時間(年35時間)	・音声を中心に外国語に慣れ親しむ。 ・コミュニケーションを図っていくための素地を育てる。 ・外国語を学ぼうという意欲を高める。	担任と外国語指導員で行う。
5年生 6年生	外国語活動 ・聞くこと ・話すこと 週1時間(年35時間)	外国語科 ・聞くこと ・話すこと ◎読むこと ◎書くこと 週2時間(年70時間)	(外国語活動で学んだことをベースに) ・読むこと、書くことに慣れ親しむ。 ・コミュニケーションを図っていくための基礎的な技能を身に付ける。 ・中学校の学習へスムーズにつなげる。	1時間は担任と外国語指導員で、もう1時間は担任が行う。

通知表には今までの外国語活動と同様、活動の記録として文章で記載します。3・4年生については「総合的な学習の時間の記録」に併記します。

※ 国では平成30、31年度は授業時間を3・4年生は15時間、5・6年生は50時間として完全な実施は平成32年度からでも可としていますが、市川市では今年度より3・4年生で35時間、5・6年生で70時間と先行で実施しています。

特別の教科 道徳

学校教育のねらいの1つは、子供達の豊かな心を育てていくことです。思いやりの心を育てたり、社会的な規範意識を身に付けたりすることは、学校の教育活動全体をとおして行っていかなければなりません。

今年度から始まった「特別の教科 道徳」(道徳科)は、学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の中でも要(かなめ)として位置づけられており、授業の中では次のことを重視しています。

○子供たちが考える活動、話し合う活動。

○答えが1つでない事柄について、自分自身の問題としてとらえ、向き合うこと。

通知表の「道徳科の学習の記録」では、児童の道徳性について評価するのではなく、道徳科の授業の中で

○ある事柄について自分のこととしてとらえ、道徳的な価値を高めようとしていたか。

○1つの道徳的な価値について、様々な視点から考えようとしていたか。

などについて評価し、文書で記載します。(例文参照)

また、授業の中での評価なので、「生活・行動の様子」の評価とは異なることもあります。

例文

グループの話し合いでは、積極的に自分の考えを述べてます。道徳ノートには、授業を通して考えたことや自分の考えが変わったことについて理由を書いています。

例文

「命の大切さ」について考える授業では、友達の発表を聞き、命がなくなっていくことの重要性に気づくなど、授業をとおして自分の考えが広がりました。

道徳教育

各教科(国語・算数 etc)
総合的な学習の時間

学級活動 **道徳科** 学校行事

委員会・クラブ活動